

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12】

縦置きグレーチング床版の採用によるコスト改善

工事名：倉敷立体大西高架橋床版外工事

概要：【従来】合成床版 ⇒ 【新】縦置きグレーチング床版

※I型鋼をリブとして用い、それに1.0mmの底鋼板を溶接で取り付けたパネルを 主桁・横桁上に敷設し、その上からコンクリートを打設して合成床版を構成する。

効果：

- ・従来工法に比べて床版厚が薄く、材料費の低減が可能であり、施工性も良い
 - ・また、上部工死過重が軽いため、軟弱地盤上の下部工に対して構造的に有利
- 工事費が**107百万円**から**91百万円**に改善
(改善額 16百万円 改善率 約15%)

